

会員各位



東京六稜会
会長 志 甫 溥 (66期)

第55回 東京六稜会総会 ご案内

拝啓 陽春の候、皆様には益々のご清祥のことと存じます。

昨年、東日本大震災から1年を経ました。改めて、万の死者への「祈り」をささげ、復興への取り組みに「希望」を願う次第です。さて、昨年の第54回総会へは209名の東京六稜会員が集い、盛会となりました。会員の皆様のご協力、また六稜同窓会、北野高校のご支援によるものと、この場を借りして御礼を申し上げます。

今年度の総会も金曜日夕刻からの開催です。同期生、クラブの先輩・後輩、現在の職域関係など諸方面お誘いあわせの上ご参加ください。

2年前より「若手アワー」を実施、大いに盛り上がっております。100期～123期の若い方々の奮ってのご参加をお願いします。この総会を機に、それぞれの同期会、クラブ会などを企画して頂き、幅広い交流をして頂ければ幸いです。 敬 具

日 時：平成24年6月1日(金) 18:00～20:30

- 17:00 受付開始
 18:00～18:30 総会 司会：川尻和子(93期)
 ご挨拶：志甫会長、来賓
 会計報告・役員改選：黒岩事務局長
 18:30～19:00 講演『自己決定権時代の日本人 ～放射線問題渦中の福島県から～』
 奥真也氏(会津大学先端情報科学センター医学・医療クラスター) 93期
 19:00～19:10 会場移動
 19:10 懇親会 司会：植田久子(93期)
 樽鏡開き、最高齢者乾杯、93期小霜和也氏作成コンテンツ上映、
 若手アワー、校歌斉唱(リーダー中村雅一氏)
 20:30 中締め
 21:00 解散

会 場：学士会館(東京都千代田区神田錦町3-28…地図参照)

会 費：年度会費(通信費などに支出)1,100円です。

〈出席の方〉次の会費を同封の郵便振替用紙にてお振込みください。

- *51期以前 会費免除・懇親会ご招待
 - *52期～64期
 年度会費1,100円(懇親会はご招待)のみ 合計：1,100円
 - *一般会員(お酒を希望)
 年度会費1,100円+5,400円(懇親会費) 合計：6,500円
 - *一般会員(お酒は不要)
 年度会費1,100円+3,900円(懇親会費) 合計：5,000円
 - *学生会員
 年度会費1,100円+1,900円(懇親会費) 合計：3,000円
 - *新会員(今年4月に東京地区の大学等に入学された方) 無料
- ・なお当日キャンセルは会費および懇親会費分を徴収させていただきます。

〈欠席の方〉同封の郵便振替用紙にて年度会費1,100円をお振込みください。

寄付1口3,000円をお願いできる方は、年度会費、懇親会費に上乘せしてお願いします。

ご連絡

- ・出席者のみ、同封の返信はがきにて5月10日頃までに必ずお返事ください。
- ・住所・勤務先など変更事項のある方も、返信はがきにてお知らせください。

お問い合わせ先

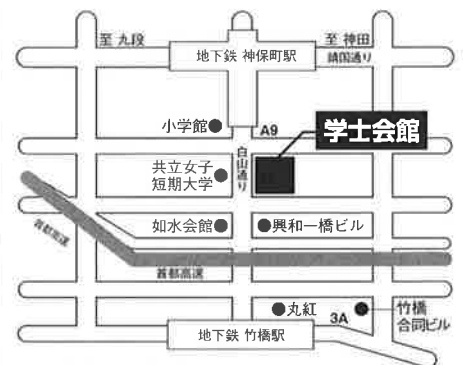
東京六稜会事務局 黒岩暎一(75期) 藤村吉男(84期)

東京都港区愛宕1-6-7-408 電話：03-5408-7787 FAX：03-5408-7786 tokyo@rikuryo.or.jp

若手交流会代表幹事：濱中明子(114期) Maholine7@hotmail.com 安藤勝利(111期) k.ando@kitahama.or.jp

当番期代表幹事：小國敏和(93期) pasadena@khaki.plala.or.jp

会場のご案内



会館フロント

03-3292-5936

- ◆「神保町駅」 A9出口より徒歩1分
 ・都営三田線、都営新宿線
 ・東京メトロ半蔵門線
- ◆「竹橋駅」 3A出口より徒歩5分
 ・東京メトロ東西線
- ◆東京駅北口よりタクシー 10分

「北野と南開」

東京六稜会 顧問 大山利雄(56期)



東京六稜会の会報が発行されるという。50余年の歴史のなかで、画期的なことがある。事務局長より執筆せよとの指示。東京六稜会発足時のこと、東京六稜倶楽部誕生の経緯でも書いてみようかと思っていた折、たまたま読んでいた李相哲著「金正日と金正恩の正体」(文春新書)の本の中で、次の條が目に入った。

“2010年8月、デビューを控えた金正恩が金正日に連れられて、中国・吉林省にある毓文中学校を訪問した。1917年、吉林の有志の手で、天津の南開中学校(周恩来元総理も通ったことのある名門校)をモデルに作った伝統のある学校だ”という一文である。ここで昔読んだことのある時事通信の記事を思い出した。

昭和47年頃、桜美林大学の学長に清水安三という方が居られた。彼は戦前、中国の北京で崇貞学園を経営していた。その方の記事である。

崇貞学園の理事長に偉大な教育者である張伯苓氏を推戴していた。張先生がこんなエピソードを話されたことがある。訪日し一日大阪市内を見学した。たまたま道に「北野中学開校式」の立て看板を見、中をのぞいたところ思いがけなくも来賓席に坐わらされた。その後日露戦争が終り、張先生は天津に中学校を創立し南開中学と命名した。

北野中学の北野は大阪の地名だが、中国人の張先生には北の野蛮と読める。その記憶があったから、文化は南方より来るということで南開と名付けた由である。……南開中学の存在は、わが明治維新の松下村塾あたりに匹敵するものといえるかもしれない。という記事であった。

学校名に地名をつけるというルールがあって、堂島(中学)より北野(中学)となったのであるが、昭和に入り、十三に移った時には十三中学になるのを、北野にとどめたのには先人の苦勞があったであろうと思う。

ご存知の方も多い話かもしれないが、以上で責を果たさせていただく。

第55回総会のご案内

当番期 93期

6月1日(金) 18:00～(総会)

17:00より受付開始

記念講演 奥 真也氏(93期)

『自己決定権時代の日本人
～放射線問題渦中の福島県から～』

奥 真也氏 プロフィール

会津大学先端情報科学研究センター医学・医療クラスター教授
医師・医学博士・放射線科専門医・経営学修士

<略歴>

— 学歴 —

昭和56年 3月 大阪府立北野高等学校卒業(93期)

昭和56年 4月 東京大学教養学部理科一類入学

昭和57年 4月 東京大学教養学部理科三類入学

昭和59年 4月 東京大学医学部医学科 進学

昭和63年 3月 東京大学医学部医学科 卒業

平成23年 7月 英国レスター大学経営学修士課程卒業

— 職歴 —

昭和63年 6月 東京大学医学部附属病院放射線科研修医

平成 7年 4月～平成 9年 3月 仏国国立医学研究所(INSERM)に留学

平成15年 7月 株式会社レーグル(医療関連事業コンサルティング)設立

平成16年 6月 東京大学附属病院22世紀医療センター健診情報学講師准教授

平成16年12月 埼玉医科大学総合医療センター放射線科准教授(兼任)

平成21年 9月 会津大学先端情報科学研究センター医学・医療クラスター教授